

徳山高専だより

National Institute of Technology, Tokuyama College

2019年度

No.73

特集

徳山高専生の挑戦！
継続は力なり



徳山工業高等専門学校

02 巻頭言

03 徳山高専生の挑戦！継続は力なり

08 国際工学教育研究会（ISATE）の開催

09 教育改革の取組

11 国際交流活動報告

13 Look Back 2019

16 進路一覧

17 今年の就職・進学状況

19 わたしの就職進学STORY

22 留学生日より

23 高城寮より

25 学生会活動

27 退職教職員から

29 ビックアップニュース

巻頭言

未来から求められる「学び」へ



徳山工業高等専門学校 校長
勇 秀憲

変動(Volatility)・不確実(Uncertainty)・複雑(Complexity)そして曖昧(Ambiguity)という4つのキーワードを使って、学生たちが生きていくこれからの時代はVUCA(ブーカ)の時代だと予測されています。

『2040年に向けた高等教育のグランドデザイン』(中央教育審議会、2018年11月)では、こうした「予測不可能な時代」を生きる人材像を、①普遍的な知識・理解と汎用的技能を文理横断的に身に付け、②時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、論理的思考力を持って社会を改善していく資質を有する人材とし、その育成のためには高等教育を「学修者本位の教育」へ転換し、「何を学び、何を身に付けることができたのか」の視点で一人ひとりの学修成果を可視化するとしています。

また、『Society5.0に向けた人材育成』(文部科学省、2018年6月)では、

Society5.0社会でのAI・IoTやブロックチェーンなどの活用による「学びの在り方」の変革から教育の取り組みべき方向性として、①公正に個別最適化された学び(ポートフォリオやEdTechの活用など)、②基礎的読解力、数学的思考力、情報活用能力などの習得(基礎的学力の定着など)および③文理分断からの脱却(人文、STEAM、地域の連携など)を示しています。さらに、『「未来の教室」ビジョン』(経済産業省、2019年6月2次提言)でも、EdTechの活用により①学びのSTEAM化、②学びの自立化・個別最適化および③新しい学習基盤づくりを提言しています。

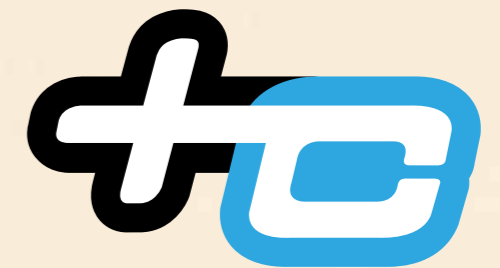
こうした中、本校でも全国高専を先導し、①文部科学省AP事業(学生たちが卒業時に求められる知識・スキル・能力の可視化)、②高専機構グローバル高専事業・グローバルエンジニア育成事業(異文化理解、外国語授業、海外研修などを通じ、地域のグローバル化に対応する課題

発見・解決力の育成)、③高専機構モデルコアカリキュラム推進事業(ポートフォリオ教育の調査実践(拠点校)、学生二人ひとりに対応できる学生間支援の推進(実践校)などに継続して取り組んでいます。また授業のSTEAM化として学科横断・学年縦断型の課題解決授業や個別最適化授業の仕組み作りを始めています。

学生たちは、英語プレゼンテーションコンテスト、デザコン、ロボコン、プロコン、高専祭、学生会活動、課外活動や寮活動などのいろいろな活動を通して、周りのみんなと協力し成長し合い生き生きと活躍しています。そこでは、自らの知識・スキルを基にして、表現力、企画力、創造力、忍耐力、コミュニケーション力などを磨き、自分の将来を見据え生き抜く基礎を育むことができていると確信しています。教職員と学生、保護者の皆様や地域社会などが一体となり協働して、学生たちが楽しく「学び」、活発な諸活動ができる学校環境をさらに進めていきます。

校舎リニューアル

2019年8月より約3か月間、教室・管理棟外壁と12教室、演習室、階段の内壁改修工事が行われました。工事期間中は、足場が設置され、授業中も窓の開閉ができず、学生の皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。寮や実習工場の改修工事は、現在進行中です。



徳山高専

National Institute of Technology,
Tokuyama College

5つのC

1. **C**reation / 創造
2. **C**hallenge / 挑戦
3. **C**ooperation / 協働
4. **C**ommunication / コミュニケーション
5. **C**ritical thinking / 批判的思考

特集

徳山高専生の挑戦！継続は力なり

第54回全国高等専門学校校体育大会 ハンドボール部 5年ぶりの全国優勝

機械電気工学科教授
ハンドボール部顧問

池田光優

土木建築工学科 5年
ハンドボール部 主将

谷本貴哉

今回の全国高専体育大会では、大会運営とチーム監督の2つの立場で大会を進めなければならなかったの、肉体的にも精神的にも結構辛かったです。しかしながら大会運営では、教職員やマネージャーの皆様の多大なるご支援をいただき、またチーム監督としては、外部コーチの宇佐川氏のおかげで、潤滑な大会運営を行うことができました。皆様、ご協力ならびに応援、本当にありがとうございました。



私達徳山高専ハンドボール部は、夏に開催された全国高専体育大会で5年ぶり6度目の優勝をすることができました。それまでの道のりは長く、そして険しいものでした。チームとして同じ方向を向けず、先生に見限られたこともありましたが、去年の夏の大会で準決勝で敗退した原因についてミーティングを重ね、優勝するためにどうすれば良いかをチーム全員で話し合うことで、軌道修正をしました。そして迎えた今年の全国高専体育大会では、順調に駒を進めることができました。決勝の前半、オフエンスとディフェンスが上手く噛み合い、良い形で終えることができました。しかし、後半は蓄積した疲労から足が止まり、ミスを重ね2点差まで詰め寄られる場面もありました。しかし、あの悔しさが支えてくれ、持ち直し、勝利を掴むことができました。これまで支えてくれた先生、コーチ、チームメイトには感謝しきれません。苦しい状況に立たされても負けないことの大切さを、この大会から学ぶことができました。たくさんの応援、本当にありがとうございました。

全国高専体育大会
令和元年8月23日～25日



選手宣誓！
(開会式)



(決勝試合開始直前)



優勝後の
記念撮影



キャプテンの
閃光シュート!!



ラストシュート!



歓喜の瞬間



OBたちの
大応援!

(試合終了直後)

英語プレゼンテーションコンテスト

一般科目 英語科 准教授
倉増泰弘

プロコンの紹介

徳山高専では、海外でも活躍できる人材を育成する取り組みの一つとして、「高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト」への参加に力を入れていきます。このコンテストでは、毎年1月末に実施される全国大会出場を向け、各地域で地区大会が行われます。地区大会には、プレゼン部門と暗唱部門があり、このうち全国大会出場資格を得るのは、「プレゼン部門1位と2位のみ」という厳しさです。

本校では、この地区大会に出場するために、まず校内オーディションを行い、それをくぐり抜けた学生4名が2部門に分かれてエントリーします。大会の約3ヶ月前から発表原稿の作成や発音練習をしますが、最高のパフォーマンスができるように発音だけでなくアイコンタクトやジェスチャーなど、細部に渡って準備していきます。出場者の中にはネイティブさながらの発音を身につける学生もいて、大会では聴衆を魅了するパフォーマンスを披露してくれています。

2018年度 全国大会1位 石田薫子さん

左の写真は、2018年度全国大会でプレゼン・シングル部門に出場した情報電子工学科3年の石田薫子さん(当時2年生)です。石田さんはシステムエンジニアになることを目指していますが、「モノづくりとモチベーション」をテーマに、エンジニアがどのようなモチベーションを持って仕事をすべきなのか、モノづくりに関する自身の実体験を紹介しながら、英語で力説しました。石田さんは地区大会を1位で抜け、全国大会でも1位になるという快挙を成し遂げました。この功績が讃えられて、2019年11月には山口県知事から「メダル栄光」が贈られています。

2018年度全国大会
平成31年1月26日、27日



2019年度も全国大会へ ●シングル(プレゼン・暗唱)部門

左の写真は、2019年度の地区大会でプレゼン部門に出場した情報電子工学科2年の山田吏月君と山本紗也さんです。2人はそれぞれ「日本の教育におけるカタリスト(触媒)の必要性」と「日本の女性の幸せ」というテーマのもと、力強く洗練されたプレゼンテーションを披露しました。同大会の暗唱部門には土木建築工学科2年の福永冨月さんと三浦舞桜さんが、オバマ元大統領夫人のファーストレディとして最後の演説、エマワトソンのフェミニズムに関する感動的なスピーチを熱演し、会場を魅了しました。なお、シングル部門の山田君は2位、山本さんは3位に入賞し、山田君は2020年1月全国大会に出場しました。

2019年度地区大会
令和元年11月2日、3日



英語
プレゼンテーション
コンテスト
全国大会ポスター

●チーム部門

本コンテストでは、地区大会シングル部門とは別に、チーム部門も行われます。この部門では、予選をプレゼン動画の審査によって行い、優れた動画を作成したチームから上位約10チームが全国大会への切符を手に入れます。今年大会の予選を見事突破し、機械電気工学科4年の新多史果さん、土木建築工学科4年の佐村桃香さん、前田明日香さんが出場を決めました。彼女たちはプレゼンの中で「女性にとってフェミニズムとは何を意味するのか」をテーマに、独特のロジックを展開しました。上学年ということもあり、内容も英語力もハイレベルなパフォーマンスを要求されますが、3人のチームワークで素晴らしいプレゼンを完成させました。高専の上学年は学期中・休業中問わず、課題、研修、インターシップと多忙を極めていますが、グローバルな人材になるために色々なことに貪欲にチャレンジしています。



デザコン2019 in TOKYO 構造デザイン部門 審査員特別賞

土木建築工学科教授 / 指導教員
海田 辰将

STOKUYAMA
STRUCTURES

令和元年12月7〜8日に大田区産業プラザP10で開催された「デザコン2019 in TOKYO」の構造デザイン部門において、土木建築工学科5年 河村篤志君、4年 西川侑華さん、3年 貞本舞さん、高木拓海君、1年 元永真菜さん、長谷川京香さんの作品「双穹(そうきゆう)」が36高専62作品の中で、審査員特別賞を受賞しました。

今回の大会では、厚さや材質が異なる3種類の「紙」を用いてスパン900mmのペーパーブリッジを製作し、その「強さ」「軽さ」「美しさ」を競います。2015年の和歌山大会から、銅線を用いたメタルブリッジが続いていましたが、5年ぶりに素材が一新されました。

「双穹」は、面材としての紙の性質を最大限活かすために変断面箱形部材を採用し、スパン中央でクロスさせたラメン構造と呼ばれる構造形式です。一見すると橋には見えないような



「双穹」載荷実験(チームリーダーの河村君)

形をしています。ブーメランのような2つの主部材が互いに支え合う構造にすることで、今大会のメインテーマである「五輪書」、すなわち東京オリンピック・パラリンピックの開催理念と、中央で2刀の剣を構える宮本武蔵のような勇ましさを表現しています。また、最大50kgの荷重に対して、腕組みをして耐えるような力強さ、エアブラシを活用したグラデーションブルーの着色は、地球規模で開催される五輪の爽やかさや壮大さを表しており、構造的な工夫とともに高いメッセージ性を併せ持った作品です。

一方、徳山高専チームのもう一つの作品「百載武弓(ひゃくさいむきゆう)」は、惜しくも受賞には至りませんでした。しかし、自旋式ケーブルエレクションと名付けられたオリジナルの扁平アーチ構造です。本選会場にて初めて50kgの荷重に耐え切り、多くの感動を生み出しました。

全62作品の中には、紙を棒状に加工した部材を用いたアーチ構造やトラス構造が多い中、独創的なアイデアで強さ・軽さ・美しさを追求した徳山高専の2作品は大勢の注目を集

め、載荷試験でその性能を見事に発揮しました。

ところで、徳山高専デザコンチームは2014年以降、最優秀賞1回、優秀賞3回、特別賞2回と6年連続で受賞し続けており、9年間での受賞回数は10回に達していることをご存知でしょうか? 毎年、全国高専から約50〜60作品が出品される中で受賞し続けることは奇跡と呼べるかもしれません。

この強さの秘訣は、学生たちの「面白い作品の追求」にあります。構造デザインの世界では、荷重の大きさ、位置、支え方が決まれば、ある程度、強さと軽さを両立するための最適構造が見えてきます。しかし、本校のデザコンチームは、それを知った上で、敢えて「人と違うモノを創るぞ!」とのチャレンジ精神が伝統になっており、様々な技術的課題を独創的なアイデアとチームワークで克服し、構造性能+αを兼ね備えた作品を創り続けています。

このようなハイレベルなものづくりを、わずか200名の模型でやっているのける元気がいっぱいの学生たちに、心から敬意を表します。

高専ロボコン2019 「らん・RUN Laundry」

ロボットの
ランバスター
ラン
ランに美しく干す競技でした

久野翔一

機械電気工学科 4年

Bチームのチームリーダーで手動機設計・操縦を担当しました。地区大会ではありえない操縦ミスを連発した結果、準優勝にとどまってしまうと残念に思っています。今後はシーズン中に増量した5kgを元に戻すためのダイエットに励もうと思っています。

森本水月

情報電子工学科 4年

部長とBチームの選手、手動機制御を担当しました。地区予選ではAチームは企業賞、Bチームは準優勝、全国大会出場と両チーム結果をのこせてよかったです。ここまでついてきてくれた部員達、サポートしてくださった方々に感謝したいです。

藤本樹宗

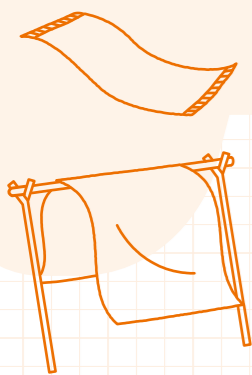
機械電気工学科 2年

今年は悔しい思いをしました。自分自身も今のままではいけないと思います。だからこそ今のままではいけないと思っています。来年こそは全国でクールに勝てるように日々努力していきます。

高橋徹

機械電気工学科 4年

Bチームの自動機設計・競技では自動機の装填・スターターを担当していました。地区大会では準優勝、全国大会では初戦で敗退という結果でしたが、これまでの集大成をパフォーマンスできたと思っています。ファラオにKPP!!



菅田優希

土木建築工学科 4年

Aチームは、ロボコン初心者ばかりのメンバーで最初は不安だらけでしたが、最後には皆で作ったロボットで大会に出れて本当に良かったです。

佐々木翔太

機械電気工学科 3年

今年のロボコンを振り返って「文字」で表すとすれば、それは「未熟」です。来年はチームを引っ張って成果を出せるよう、努めたいと思います。



中国地区大会
令和元年10月27日



ロボット調整中
(全国大会)



掛かるか!?

ロボットで最終調整
(地区大会)



全国大会
令和元年11月24日

集合写真
(地区大会)



ロボットで作戦会議
(全国大会)



コントローラの設計・製作



装飾部品の
製作風景



本選ステージでの集合写真
2019デザコンメンバー+
当日駆け付けてくれた
デザコンOB・OGと一緒に...



「双穹」作品ポスター



「百載武弓」作品ポスター

審査員へのプレゼンを
務めた原さん(右)と貞本さん(左)
全力で大躍を
やりきった直後の一枚



全国高等専門学校
プログラミングコンテスト

情報電子工学科 助教
ニューメディア部 顧問

力規晃

全国高等専門学校第30回プログラミングコンテスト(以下高専プロコン)が令和元年10月13日~14日に宮崎県都市の都城市総合文化ホールで開催されました。高専プロコンは高専学生の創造する能力とプログラミング力を競う大会です。高専プロコンには課題部門・自由部門・競技部門の3部門があります。課題部門と自由部門では与えられたテーマもしくは自由に独創的なシステムを開発してプレゼンテーションやデモンストレーションを行います。

競技部門では与えられた競技テーマ



マで各チームが開発したプログラムを用いた対決を行い、勝敗を決めます。今年の競技部門の競技内容はマサ目では切られたフィールド上で、いかに多くの陣地を占有できるかを競う陣取りゲームでした。この競技では十数秒ごとにネットワークで次のターンの指示を送る必要があります、そのため全て自動的にプログラムで行わなければならない比較的難しい競技内容でした。



が競技部門に参加しました。初日のファーストステージではプログラムがうまく動かずに敗退して敗者復活戦に望みをかけることになりました。2日目の敗者復活戦ではプログラムは順調に動いたのですが、リーグ内2位で、1位ではなかったため次のステージには進出できませんでした。

彼らはまた来年も参加して、今年の反省を生かしてより上位を目指したいそうです。



国際工学教育研究集会 (ISATE) の開催

Engineering Education for Sustainable Development in the 21st Century

天内 和人

ISATE2019 運営委員長

国際工学教育研究集会 (ISATE: International Symposium on Advances in Technology Education) が、令和元年9月17日~20日(4日)に、本校を担当校とし周南市文化会館で開催されました。これは、高専機構が学術交流協定を締結するシンガポールのポリテクニクス5校(シンガポール)、香港職業訓練協議会(香港)、トウルク応用科学大学(フィンランド)等と共催される国際シンポジウムです。今年度は「Engineering Education for Sustainable Development in the 21st Century」をメインテーマとして、シンガポール、香港、フィンランドなど海外から65名、国内から106名の先導的な工学教育に取り組んでいる教職員が参加し、総合的・多角的視点から工学教育のさらなる発展を目指し、実践技術者工学教育に関する議論や、参加各国における工学教育に関する情報交換が行われました。本校の学生も、スタッフとして、司会や会場内外でのサポートを務めたりして活躍しました。

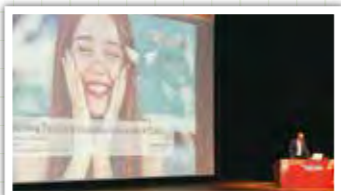
本校からは機械電気工学科3年齋藤那月君、情報電子工学科2年広政遼汰君、吉武拓海君の3人のチーム



勇校長
クロージング
スピーチ



天内副校長 クロージングスピーチ



基調講演



総会司会の情報電子工学科2年山田史月君と山本紗也さん



オープニングセレモニーにて吹奏楽部による演奏



Tea ceremony



茶道部 Tea ceremony の受付



学生が受付を担当



Welcome Reception



学会発表の様子



ISATE役員メンバーの鏡割り



周南市伝統芸能の三作神楽 鬼と恵比寿の舞

タイムキーパーと
PC操作補助を
学生が
行いました。

パンフレット

参加者に
好きなお菓子を
選んでもらっています。

作法を
英語で説明

参加者は
海外の方が
半分なので、
受付はもちろん
英語です!

2019年度 教育改革の取組

副校長
天内 和人

大学教育再生加速プログラムの
取り組みについて

本校では、平成28年度より文部科学省「大学教育再生加速プログラム」に採択され、地域に密着した「安全・安心志向型」複合融合教育コアカリキュラムの構築に取り組んできました。この取組では、本校の卒業生・修了生が到達すべき学習内容とその到達レベルを学習履歴証明書(ディプロマサブリメント)という形で保証します。

さらにこれを実現するため、高専機構のシステムと連動したキャリア教育システムの構築や、ポートフォリオ教育の実践、学生の主体的な「学び」を実現するための教職員研修を体系的に実施してきました。さらに学生が主体的に教育改革に参画するため「近未来KOSEN」や、これに続く学生と教員の「談ラン会」を開催しています。入学から卒業まで首尾一貫したキャリア支援体制の下、地域社会の求める人間・技術者の成長に必要な汎用的能力の的確な評価と教育改革を促進することを目指しています。

グローバル高専事業に
おける取り組みについて

本校は、「世界に通用する実践力のあふれる開発型技術者をめざす人材の育成」という学習・教育目標を掲げ、高い倫理観をベースとして地域企業群のグローバル化を支える実践的技術者の育成を目指し、平成28年度から「グローバル高専事業(展開型)」を展開してきました。令和元年度からは、この事業の発展・展開事業として、「グローバルエンジニア育成事業」に採択され、本校の学生が地域企業群のグローバル化を支える人材として、世界共通言語としての英語力、さらに英語力には留まらない異文化対応能力、地域のグローバル化における課題を把握し、それらの課題を様々な文化的背景を持つ人々とともに解決するための課題解決力などを身につけることを目指し、「青い鳥」Global Challenge Program」を構築しています。その成果として低学年では国際バカロレアプログラムの導入、高学年ではCDIOイニシアティブへの加盟によるグローバルなレベルにおける技術者教育の質保証システムの構築を目指しています。

学生と教員が同じ目線で 徳山高専の未来を考える

土木建築工学科 助教
総合企画室 主務

段下 剛志

本校にて採択されている「大学教育再生加速プログラム」の一つとして、平成30年8月10日に開催した「近未来KOSEN」では、学生から様々な意見・要望が挙がり、その中には教職員が気づくことのできなかったものや教員と学生との認識の違いなども含まれていました。そこで、今年度はまず、学生から受け取った意見・要望を全教職員で共有し、受け入れて向き合うことから始めました。

学校としてどう対応するべきか、どう考えるのかなど、学生への返信メッセージを考え、次にそれらをポスターとして校内に掲示することで、全ての学生とも共有しました。すると、本校の過半数の学生から共感を得られている意見・要望もあることが分かりました。

そこで、学生が普段の生活の中で感じている「ホネネ」を「気軽に」話し、聞き出すための新たな試みとして、昼休みの時間を使って「ランチを食べながら談話会をする」ことになんだ「談ラン会」を開催しました。

令和元年12月11日第二回目の談ラン会では、学生と校長・副校長・教員数名を交え、「学生が主体になって進んでいるクラスマッチ」について、これまでの課題や今後のクラスマッチのあり方を話しました。談ラン会は、今後も学校行事や学校生活における規則、授業に関するテーマで継続的に開催する予定です。

これからも教職員が一丸となって、徳山高専の主役である学生の学校生活の質・満足度をさらに高めていくための新たな機会を創り出していきたいと思えます。

校長先生とランチをしながら
談話会(談ラン会)の開催

学生からの意見は112個。
学校からすべてに
返信メッセージを書いて
掲示しました。

掲示されたものをみて、
さらに自分たちの
意見を貼っています。

グローバルエンジニア育成事業概要



談ラン会



第1回「近未来KOSEN」

学生が主体的に
教育改革へ参画

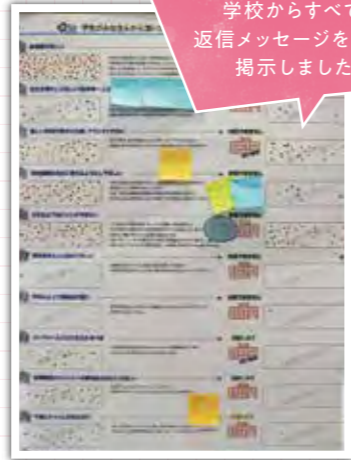


グローバルエンジニア育成事業 令和1~5年度
(グローバルエンジニア基礎力養成プログラム)
・ 中学校とのスムーズな連携
・ アダプティブ英語 e-Learning システム導入
・ 授業形態・方法の多様性に対応(CLILコンテンツの開発・出版)
・ 英語科目以外の授業の英語化
・ 海外留学研修等の導入
・ 教員のキャリアアップ支援(授業セミナー、ウェビナーの導入)
・ 国際会議等の開催(ワークショップ開催、学術学位取得)
・ 専科等専修制型STEAMプロジェクト導入
・ AI Grow 等による異文化対応力の可視化
・ GTECA 技能認証による英語力の可視化



グローバルに活躍する技術者 → 教育のグローバルレベルの質保証
世界標準レベルの技術者教育改革を推進
専攻科2年次: JABEE CDIOイニシアティブ
専攻科1年次: 技術者教育プログラムの国際的相互認証
本学5年次: DS(Diploma Supplement)
本学4年次: SL(Service Learning)
本学3年次: IB (International Baccalaureate)
本学2年次: 国際的に通用する大学入学者員(国際バカロレア資格)プログラム
本学1年次: 国際会議への参加(国際バカロレア資格取得者)
海外協定校: 大学教育再生加速プログラム(API) 適用済み
教育課程改革: 2021年22年度 国際バカロレアへの対応
2023年度 国際認定(DIPプログラム)取得
国際標準保証システムの構築

徳山高専は学生が主体的に学び、世界に羽ばたくよう、教育システム、教育方法、教育内容を改革中！
グローバルレベルの技術者を育成するため、継続的に急ピッチで教育改革を進めています。



国際交流活動報告

毎日が国際交流 高城の丘から始まる私たちの挑戦

飛んで、学んで、見て、食べて、世界へ行きました

大連研修

14days

徳山高専として初めて、4名の学生が中国の大連にある大連東軟信息学院の夏季短期留学プログラムへ参加しました。9月2日から9月15日まで、大学寮に滞在して、長崎外語大学や北海道情報大学の学生と一緒に、中国語研修や企業訪問、餃子作りや太極拳などの異文化体験をしました。

私達は、大連東軟信息学院に2週間お伺いし、大連や旅順の観光、中国語学習、中国文化の体験など充実した日々を送りました。異文化を学び自分の価値観を大きく変える機会だったので皆さんも是非参加してみてください。

情報電子工学科 5年 澤佳祐



オーストラリア語学研修

3weeks

8月24日から9月15日まで、Langports Sydney Campusにおいて語学研修を実施しました。この研修は中国地区の高専が共同で実施しており、徳山高専から2名、松江高専から5名、米子高専から5名が参加し、ホームステイをしながら英語研修に励みました。

ホームステイ先では、夜ご飯にBBQをしたり、子供たちとカードゲームをしたり映画を見たりして遊びました。初めは緊張しましたが、毎日がとても楽しかったです!!

土木建築工学科 3年 浅田 穂乃果



学内の国際交流

世界から受け入れられました

今年も、香港IVE (Hong Kong Institute of Vocational Education) とシンガポールポリテクニクから学生を受け入れて、技術教育交流・異文化交流を実施しました。

香港から

5月16日から5月23日まで、男子学生8名と教員1名を受け入れました。課外活動 (Mocking) 、異文化体験、学内で授業へ参加したり、研究室を訪問したりしました。



シンガポールから

6月13日から6月22日まで、男子学生8名と教員1名を受け入れました。モデルロケットを飛ばしたり、茶道を体験したり、研究室訪問をしました。また、学校近くの小学校で小学生とダンスやゲームを通じた交流をしました。



ホームステイ

私の家は今年の6月にシンガポールのJUNという男子学生をホームステイとして受け入れました。彼はとてもフレンドリーで、ホームステイが終わった今でも連絡を取り合い、彼が日本に来た時は会いに行ったりするほどの仲になりました。

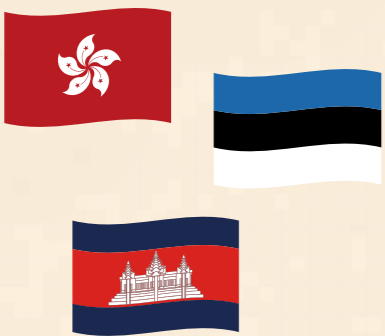
情報電子工学科 4年 弘中大雅



トビタテ! 留学 JAPAN

政府が企業の寄付金を元に実施する留学制度で、自分で海外留学プランを計画して応募します。

本校は、これまでに17名がこの制度で海外留学しており、全国の高専でもトップクラスの採択数を誇っています。本年度は、高校生コース7名、大学生コース2名が採択されました。



エストニアにて

エストニアにて、ブロックチェーンと電子国家の実装について研究インターンしています。フルマラソンに出たり、ピジョンで優勝したり、フィナンランドでボランティアしてきました。:Reesit:というメディアの立ち上げも予定しています。留学期間が終了する3月まで自分にできることをひとつずつやっていきたいと考えています。

情報電子工学科 5年 城代 拓哉



香港・カンボジアにて

5年生を休学して留学しています。香港IVEではソーラーカーチームに参加しましたが、力及ばず納得のいく学習ができませんでした。カンボジアでは雑誌と情報サイトを運営する会社にてインターンをしています。今は「魔法の絨毯に乗ったプリンセス」と同じ思いです。魔法使いを倒して自由を手にいれたいと思います。

機械電気工学科 5年 中村 征志郎



国際交流室では、学生の皆さんが今後のグローバル化していく世の中に対応できるように、様々な国際交流プログラムを企画したり、トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム応募への支援、留学サポートを行っています。

2年生合宿研修



令和元年5月10、11日、山口県由宇青少年自然の家(岩国市)にて、合宿研修を実施しました。2年生になり卒業までの4年間と一緒に過ごす専門クラス編成になったため、この合宿研修を通じ互いをよく知りクラスの団結を強くすること、クラスメートとの交流の中から自己の目標を見つめなおすことを目的としています。ウォークラリー、野外炊飯、天体観測、ガラス芸等、集団および個人単位での活動を楽しみました。

電子工作×プログラミング
-セキュリティ機能付きのスマートハウスを作ろう-



小学生向けに、電子工作とプログラミング、無線通信を体験する公開講座を実施しました。高専生が補助をすることで、難しい内容も楽しんで学ぶことができたようです。また、オープンキャンパスでは、情報電子工学科の1コーナーとして中学生が体験しました。

学会表彰

第70回電気・情報関連学会中国支部連合大会



専攻情報電子工学専攻2年生
原田 慎太郎君
先生のご指導と研究室メンバーの協力のもと本賞を受賞できました。今後もこの受賞を励みに、一層精進していきたいと思っております。

専攻情報電子工学専攻2年生の原田慎太郎君が令和元年10月に鳥取大学で開催された第70回電気・情報関連学会中国支部連合大会の口頭論文発表について情報処理学会中国支部優秀論文発表賞と電子情報通信学会中国支部奨励賞を同時に受賞しました。特に、情報処理学会優秀論文発表賞は今回183件の発表中で5名以内と同連合大会の中では最も厳しい選考による賞を受賞したことになります。

4年生研修旅行



今年度は、9月17日から19日の2泊3日の日程で関東方面に研修旅行に行きました。訪問先は、「海洋研究開発機構横浜研究所」、「日産自動車株式会社 横浜工場」、「羽田クロノゲート」でした。スーパーコンピュータや、自動車のエンジン製作、荷物配送の仕分けなどの様子を見学しました。

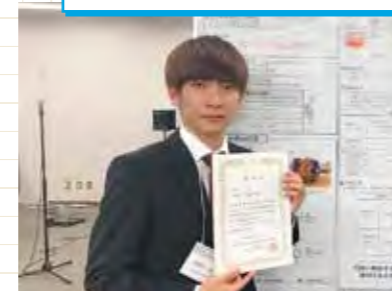
パソコン甲子園



パソコン甲子園は全国の高校生を対象とした高等学校の全国大会です。高専の1、2、3年生も参加できるので、3年の金谷祐輝君と山根慎平君がプログラミング部門に参加しました。9月にインターネット上で行われた予選では664チーム中64位の成績で本選への参加は叶いませんでしたが、11月に本選と同時にインターネット上で実施された「もうひとつの本選」に参加し全国で18位の成績をおさめました。

学会表彰

日本音響学会関西支部第22回関西支部若手研究者交流研究発表会



情報電子工学科5年生
田中 一希君
先生や先輩のご指導の下、本賞を受賞できました。今後も日本の未来を担う研究者として精進していきます。

5年生の田中一希君が日本音響学会関西支部第22回関西支部若手研究者交流研究発表会で奨励賞を受賞しました。本賞は研究交流・相互啓発の活性化を目的として、優れた発表に対して授与されるものです。本学会では39件のポスター発表があり、そのほとんどが修士の学生のものでした。田中君は初めての学会発表にもかかわらず、周りの修士の学生と比べても遜色のない堂々としたポスター発表でした。

自ら学んでいます



コンピュータは使えて当然!

最近のノートはタブレット端末

機械電気工学科では設計製図の3次元CADやプログラミングでコンピュータを使用しますが、最近では通常の座学でもコンピュータやタブレット端末を使って勉強しています。覚えるだけの授業ではなく、自分で調べ、自分で考える授業が増えています。

将来のこと考えてます



自分の将来について裏面に考えました



将来、自分は何をしたいのか、そのためには徳山高専で何を学ばいいのかを考えるためのキャリア支援プログラムが用意してあります。今年は、本科2年生と3年生がいろいろな分野で活躍している卒業生と直接対話して、自分自身を見つめ直しました。

いろいろ作ってます



ヘリコプターの設計は難しい!

自動制御で動くロボット、ちゃんと動くかは神のみぞ知る

専攻科の機械制御総合演習では、徳山高専に入って学んだ7年間の知識を総動員して、模型ヘリコプターの設計を1年かけて行っています。本科では、それまでに学んだレベルに合わせたロボットづくりを行っています。3年生では自動制御ロボットを作っています。

ものづくり教えてます



教えることが自分たちの勉強になる



地元の小・中学生にもものづくりの楽しさを知ってもらうため、自分たちに続く高専生になってもらうために、夏休みにロボット製作教室を行っています。今年もたくさんの小・中学生が製作教室に参加し、製作したロボットで周南ロボコンに出場しました。



令和元年度 就職・進学一覽

学科	機械電気工学科	情報電子工学科	土木建築工学科
就職先	東ソー(株)南陽事業所	アイオ(株)	西日本旅客鉄道(株)広島支社
	メタウォーター(株)	(株)エヌ・ティ・ティ エムイー (NTT-ME)	(株)シーエム・エンジニアリング
	NOK(株)	三菱電機エンジニアリング(株)	東ソー(株)南陽事業所
	岐山化工機(株)	日本放送協会	東海旅客鉄道(株)
	(株)トクヤマ	(株)エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア	洋林建設(株)
	三菱ケミカルエンジニアリング(株)	GMOインターネット(株)	(株)NTTファシリティーズ中国
	協和発酵バイオ(株)山口事業所	日本精蠟(株)	鹿島クレス(株)
	パナソニック(株)インダストリアルソリューションズ社 デバイスソリューション事業部 山口工場	コベルコソフトサービス(株)	(株)笹戸建築事務所
	JXTGエネルギー(株)川崎製油所	(株)オブティム	(株)トクヤマ
	日鉄ステンレス(株)山口製造所 光エリア	(株)宇部情報システム	中国電力(株)
	NTT東日本グループ会社	グリーン(株)	エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)
	水ing(株)中国営業所	東海旅客鉄道(株)	オリエンタルコンサルタンツ(株)
	三菱重工業(株)	(株)ラック	(株)大林組
	ソニー・太陽(株)	富士通(株)	ショーボント建設(株)
	アイリスオーヤマ(株)	NTTコム ソリューションズ(株)	(株)LIXIL
進学先	川崎重工業(株)	パナソニックシステムソリューションズ ジャパン(株)	国土交通省 中国地方整備局
	ダイキン工業(株)	(株)日立プラントメカニクス	周南市
	パナソニック(株)オートモーティブ社 HMIシステム事業部 敦賀地区	東洋インキSCホールディングス(株)	防府市
	東ソー・ハイテック(株)	中国電力(株)	広島市
	(株)NTTファシリティーズ中国	新立電機(株)	山口県
		山口県警察	
	徳山高専専攻科	徳山高専専攻科	徳山高専専攻科
	豊橋技術科学大学工学部機械工学課程	千葉大学工学部総合工学科	島根大学 総合理工学部 建築デザイン学科 建築計画デザインコース
	千葉大学工学部総合工学科機械工学コース	秋田大学理工学部数理・電気電子情報学科	横浜国立大学 都市科学部 都市基盤学科
	大阪大学工学部応用理工学科 マテリアル生産科学科目	九州工業大学情報工学部知能情報工学科	広島大学 工学部第四類(建設・環境系) 建築プログラム
国立障害者リハビリテーションセンター学院 義肢装具学科	豊橋技術科学大学	京都工芸繊維大学 工芸科学部 デザイン科学域 デザイン・建築学課程	
	広島市立大学情報科学部情報工学科	千葉大学 工学部 総合工学科 都市環境システムコース	
		立命館大学 理工学部 建築都市デザイン学科	
		近畿大学 建築学部	

専攻科	機械制御工学専攻	情報電子工学専攻	環境建設工学専攻
就職先	パナソニック(株) コネクティッドソリューションズ社	(株)トクヤマ 徳山製造所	前田道路(株)
	(株)日立ハイテクノロジーズ(笠戸事業所)		周南市
	三菱電機エンジニアリング(株)(鎌倉事業所)		
	日立交通テクノロジー(株)		
	オムロン京都太陽(株)		
進学先(大学院)	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科	東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻	

土木建築工学科

現場見学 to 尾道(2年生)



尾道市役所新庁舎の建設現場へ見学に行きました。

集中測量実習 in 徳地(3年生)



これまで学んできた技術をフル活用し、徳地青少年自然の家
の地形図を創り上げました。

研修旅行 to Italy(4年生)



3泊4日の日程でイタリアへ行き、土木建築構造物の魅力を
五感で学びました。

デイハイク to 石船温泉(5年生)



徳山高専から石船温泉までの約30kmの道のりを1日かけ
て歩ききりました。

「工芸としての茶室展」を開催!



その「一瞬」
だって思い出!!
日常生活のOne Scene

「仮囲いデザインアイデアコンテスト」入選!



今年の就職・進学状況

世間では売り手市場と言いますが…

5年担任／機械電気工学科／准教授 福田 明



2019年度の機械電気工学科5年生は、就職希望者が24名、進学希望者が13名でした。就職については求人数が655社で、統計が残っている1997年度以降では最高の求人数となりました。求人倍率は27倍を超え、まさに売り手市場です。来校された企業の採用担当者からも、高専生の人気の高さを感じました。

しかし、就職試験を受ければ無条件に合格をもらえるわけではありません。多くの企業は応募してきた学生をしっかりと見ています。最終的には就職希望者全員が内定をもらえましたが、今年度は、1社目の就職試験で不合格だった学生が、就職希望者の3割にあたる7名いました。

不合格の理由は大きく分けて2つあります。1つは企業研究が不十分だったことです。例えば、就職後の実際の仕事と自分がやりたい仕事にミスマッチがあったなどです。今年度は就職試験の大半が4月末までに実施され、履歴書など応募書類の締切りを3月とした企業が10社以上ありました。4年生以

下の学生の皆さんには、早い時期から業界研究や企業研究を行うことを勧めます。そのうえで、4年生の夏休みに将来就職したい企業や業界のインターンシップに行き、就職後の仕事を具体的にイメージすることができれば良いでしょう。

不合格の理由のもう1つは、コミュニケーション力などの適性面です。コミュニケーション力は「朝一」には向上しませんが、クラスやクラブ活動、アルバイトなど、普段の生活での会話を意識することで確実に向上します。社会に出て1人で仕事をすることはまずありませんから、「コミュニケーション力が重視されるのは当然です。自信がない人は早いうちから意識を変えて、就職試験や就職した後に困らないように準備をしましょう。」

最後に、進学を考えている学生の皆さんは、複数の国立大学を受験できるメリットを活かすために、数学、物理、英語を低学年のうちからしっかりと身に付けておいてください。また、進学するならば非大学院修士課程を目指してください。

OB、OGの活躍に感謝

5年担任／土木建築工学科／准教授 桑嶋 啓治



令和元年度(2019)の土木建築工学科5年生の卒業予定者は41名(男子24名、女子17名)です。就職、進学希望者全員の進路が決定しており、内訳では就職については民間企業が17名、公務員8名、進学では専攻科8名、大学編入が7名です。

4年生になると、まずインターンシップの話題から始まります。夏休みには、クラス全員がインターンシップを経験しました。さらにインターンシップ終了後に報告会を行う事で、多くの企業の実際の仕事内容を把握することが出来ました。秋になるとOB、OGによる学校訪問や各企業の1dayインターンシップ等が実施されますので、非常に恵まれたこの環境を生かすべきです。学生の就職への希望が固まれば各企業のリクルーターの方達との接触も始まり、5年生になる前の春休みから活動が本格的に始動します。そのため早い時期から自己分析、企業研究が必要です。そしてエントリーシートの作成、面接練習と慌ただしく時間が過ぎていきます。一部の企業は、6月から採用

活動を開始する企業もありましたが、多くの企業では採用活動を3月から開始しています。そのため、民間就職希望の学生は春休みと年度明けが勝負の期間であり、ほとんどの学生が6月中旬までに良い結果を頂くことが出来ました。一方、大学受験組や公務員受験組は、この時期あせりそうになりますが、じっと耐えて勉強することが必要です。

最近では、どの試験でも人物評価を最優先させており、面談が非常に重要になってきます。具体的に、クラブ活動などの課外活動に関する質問があります。その時に活動の成果として輝かしい賞を話すよりも、その活動の中で失敗した事、学んだ事、注意するようになった事などを相手にうまく伝えることが大切です。現在、企業からの求人状況が大変良好です。これは社会の情勢に加え、高専卒のOB、OGの活躍が大きいと感じています。5年生には、今後に続く後輩達のためにも是非、活躍して欲しいと願っております。

本年度の就職・進学活動を振り返って

5年担任／情報電子工学科／准教授 室谷 英彰



令和元年度(2019)の情報電子工学科本科卒業予定者は42名(内留学生1名)です。就職希望者は22名、進学希望者は20名であり、例年に比べ進学希望者数が多い状況でした。就職希望者の多くは、学校推薦で応募し、その多くが第一希望の会社から採用内定を頂くことが出来ました。また、進学希望者の多くは、本校の専攻科への進学を予定しており、大学への編入学予定者は5名となりました。

本年度の情報電子工学科への求人数は615社と多くの会社から求人頂きました。多くの会社が高専生の採用にかなり力を入れているようで、採用試験を早期に行い、なんとか高専卒業生を確保したいという意図が感じられました。そのため、採用試験は、早い会社では3月中旬から開始され、4月上旬がピークとなっており、年々早くなっているようです。採用試験の内容は、Web上で受験するSPI等の適性試験に加え、2回の面接試験という形が一般的でした。高専卒業生であれば十分な知識と技術

を持っていると考えている会社が多いようで、技術者として必要なコミュニケーション能力を重視した合否の判断を行うと人事担当者が言われている会社が多かったです。

進学試験については、本校専攻科を含め、英語の試験の代わりにTOEICスコアの提出を求める大学等が多かったように思います。また、ほとんどの国立大学と一部の私立大学で編入学試験を実施している状況には変化はありませんが、受験者数が増加しているようで、ほとんどの大学で入試倍率は年々高くなっており、二次募集を行う大学が減っているように思います。そのため、進学希望者には少し厳しい状況となっているのかもしれない。TOEICのスコアを向上させること等、進学試験に向けた日頃からの準備が大切だと思います。

最後に、本年度の就職・進学活動を振り返ると、就職であっても進学であっても将来に向けた明確なビジョンを持つことと、十分な準備をすることが大切であると思います。

専攻科という進路と専攻科からの進路キャリアを意識したカリキュラムと多彩な進路

専攻科幹事／機械電気工学科／教授 北村 健太郎



本年度の専攻科生の進路は、民間就職7名、大学院進学2名、公務員1名となっております。機械制御工学専攻では5名全員が民間就職、情報電子工学専攻では1名が進学、1名が民間就職、環境建設工学専攻では、1名が進学、1名が民間就職、1名が公務員と専攻による特徴も現れています。

ここ数年、専攻科にも非常に多くの求人が寄せられており、専攻科生に対する求人熱も高い状況が続いています。学校推薦が可能な求人も10年前と比較すると大幅に増えており、専攻科生にとっては就職の選択肢が大きく広がっています。

一方で、多様な選択肢に戸惑う学生も多くなってきたように感じます。専攻科では、2年間のカリキュラムの中で、長期インターンシップ、総合実験、総合演習を3本の柱として、本科で身に付けたモノづくりの能力をより現場に近い実践的な能力に昇華させることを目指しています。特に、長期インターンシップは、学生が企業や大学の研究室で長期にわたる

実習を行うことで、これまでに自分たちが学んできたことを棚卸して、自分が実際の仕事や研究でどのように活躍できるか実践的な取り組みを通じて具体的に考える好機です。そこでの気づきを踏まえて、後に続く総合実験や総合演習で自分が進む進路を意識しながら実践的な能力を身に付けていくことができます。

実際に、長期インターンシップでお世話になった企業に就職するケースは毎年多くあります。専攻科に入學すると翌年には進路の決定をする必要があります。専攻科進学希望の方は、こうした専攻科のカリキュラムをよく知ったうえで、「あえて専攻科という進路選択をする」という意識を持つことが肝要です。そして長期インターンシップをうまく活用して納得のいく進路選択ができるよう計画的に活動していきましょう。

土木建築

機械電気

専攻科

情報電子

就職進学STORY

希望する会社や大学に就職・進学した学生はどんな学生生活をおくってきたのか？今年度卒業・修了する学生に徳山高専の5年間7年間を振り返ってもらいました。徳山高専生等身大のリアルストーリーと後輩へのメッセージです。



機械電気工学科
新田 隼也

後輩に一言
人を笑う人間になるな、人に笑われる人間になれ

進学先
大阪大学 工学部
応用理工学科
マテリアル生産科学科科目

進学までの道のりを紹介！
新田さんのリアルSTORY

- 本科1年**
 - 4月 ハンドボール部に入部
 - 12月 部活の練習試合にて前十字靭帯損傷
- 本科2年**
 - 8月 日立交通テクノロジーズ株式会社にインターンシップ
 - 9月 リハビリが終わり部活動に復帰、高体連のキャプテンに任命される
- 本科3年**
 - 10月 怪我の恐怖を忘れられず、限界を感じ部活を退部
 - 11月 目標を失ったことで夜更かしを続けるようになり、学校の勉強が手につかなくなる
- 本科4年**
 - 7月 ある先輩と出会い自分の未熟さ、愚かさを痛感し、少しでも未来を変えるために進学を決意
- 本科5年**
 - 8月 日鉄ステンレス株式会社(旧日新製鋼)にインターンシップ
 - 8月 大阪大学工学部 編入試験を受験、合格
 - 現在 専門の幅を広げ、より実践力のある技術者を目指しプログラムやAIについて勉強中



情報電子工学科
藤山 あゆみ

後輩に一言
準備が大切！

就職先
三菱電機エンジニアリング株式会社

就職までの道のりを紹介！
藤山さんのリアルSTORY

- 本科1年**
 - 高専入学 就職・進学については考えていなかった
- 本科3年**
 - 基本情報技術者試験に合格
- 本科4年**
 - キャリアデーに参加したのをきっかけに進路を就職に決定
 - インターンシップに参加し電気電子機器の設計業務に興味を持つ
 - 1月 就職試験の応募先を決定
 - 3月 エントリーシート提出
 - 3月末 就職試験(1次・2次)
- 本科5年**
 - 現在は就職先からの課題をしている



土木建築工学科
亀割 麻衣

後輩に一言
一生懸命頑張った経験が、将来の自分の糧になる

就職先
周南市役所

就職までの道のりを紹介！
亀割さんのリアルSTORY

- 本科1年**
 - 就職の話で公務員への道を知る
- 本科2年**
 - 専門の授業が増え、その中でも構造力学や地盤の土木分野に興味を持つ
- 本科3年**
 - 建築と土木の2択で土木の道に進む
- 本科4年**
 - 8・9月 公務員と県外コンサルタンのインターンに参加する
 - 冬頃 公務員を目指すことを決める
 - 2月 本格的に公務員勉強を始める
- 本科5年**
 - 4月上旬 周南市役所の説明会に参加する
 - 6月初旬から7月初旬 周南市役所採用試験1次・3次
 - 6月中旬から7月中旬 国土交通省人事院1次・2次
 - 7月初旬 国土交通省中国地方整備局の説明会に参加
 - 7月24日 周南市役所合格
 - 8月20日 国土交通省人事院最終合格
 - より地元根付いた業務にかかわりたいという思いから、周南市役所に就職することを決意

学生の就職進学を 入学時から卒業時までサポート

■徳山高専キャリア教育支援室より
入学時から卒業時まで学生の就職進学をサポートしています。

10月4日(金)
徳山高専キャリア・デー
企業・自治体・大学研究会2019

学生が主体的に進路を考えるために、低学年から参加できるキャリア・デーを昨年度から開催しています。企業・自治体・大学の各ブースでは担当者から直接話を聞くことができるほか、その企業に就職した卒業生から情報収集できる場所もありました。また、専攻科1年生による「インターンシップ報告会」も同会場で開催されました。



情報電子工学科 4年
原田 優

キャリア・デーでは、今まであまり関係のないと思っていた食品や梱包関連の会社にも情報電子分野の仕事があるということを知り、就職活動の視野が広がりました。
また、求人票で見るよりも詳細な業務内容や福利厚生などの情報を得ることができ有意義な1日を過ごしました。

私は、自分の努力が誰かの喜びや幸せに繋がることに大きなやりがいを感じています。校内外での説明会やインターンを通して、市民の方々とより近い距離で日々の生活に貢献できる仕事に魅力を感じ、公務員を目指すようになりました。
また、公務員の試験勉強を通して、目標に向かって一生懸命取り組むことの大切さや、達成感を強く感じました。社会人になっても、今の思いを忘れずに、市民の声に耳を傾けながら、日々邁進していきます！





留学生だより

3年間の高専生活を振り返って



情報電子工学科
ハイダ ワズナ ピンティ アプトウル ガファー

私は徳山高専に入学する前に、予備学校で2年間日本語を勉強しました。その時日本語がまだ苦手だったので、一人で徳山高専に入学するのは不安でした。「自分一人で大丈夫かな? 友達が作れるかな?」と色々心配しました。また、子供のころからずっとコンピュータのことに興味を持っていたので徳山高専の情報電子工学科を選びましたが、授業についていける自信もありませんでした。しかし、先生方や、クラスメートのおかげで、私は何とか頑張ることができました。今、私はこの学校に来たことを全く後悔していません。来年度からは新しい大学での生活になりますが、徳山高専での経験と思い出を忘れずに頑張っていきたいと思ひます。



‘The journey of a thousand miles begins with one step’. Nothing will change if you don't have the courage to try. So, step out of your comfort zone and just TRY. -HAIDAH, 2019

チューターを経験して

チューター 情報電子工学科
住田 みの

私は2年生の春休みに、奥本先生からのお誘いがきっかけで、ハイダさんのチューターになりました。通生で英語が喋れるわけでもない私が誘われ、初めはとて不安でいっぱいでした。しかし、ハイダさんは私やクラスメイトに積極的に日本語で話かけてくれたので、その不安はすぐなくなりました。チューターといえど実際は友達のような感覚で、一緒にカラオケに行ったり、嬉しかったことや悩みごと、将来のことなどいろいろな話をしました。また、日本とマレーシアの文化やライフスタイルの違いなど、貴重な話を聞くこともできました。難しい日本語を簡単な日本語や英語に言い換えて伝えることは、チューターでないとかなかなかできない経験だったと思います。彼女と会ってからの3年間はあっという間でした。たくさんの貴重な経験や思い出ができたのも、彼女が私たちのクラスに来てくれたおかげです。本当にありがとう。新しい環境に行ってもお互い頑張ろうね。

環境建設工学専攻
福田 大輝



後輩に一言
人生何があるか分からない。チャンスは掴め。

進学先
東京大学大学院
工学系研究科建築学専攻

進学までの道のりを紹介!
福田さんのリアルSTORY

- 進学先 東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻
- 専攻科1年 8月 専攻科推薦試験に合格。
- 専攻科2年 8月20日 新潟大学大学院 受験合格。 8月26日 東京大学大学院 受験合格。
- 専攻科15年(1年間休学) 5月 出国 5月2月 ヘルギーのセント大学へ留学し Wave Research Group によるマリンの研究をやる。
- 3月 帰国院試の勉強開始。
- 8月 8月 東京大学大学院の音響工学研究室にインターンシップ。ここに行くことを決める。
- 8月 9月初め 香港のINTERNOISE 2017にオラールで参加。ヘルギーのセント大学 Wave Research Groupを訪問。
- 9月 9月 研究室の先生に留学を進められる。
- 12月 12月 第8期トビタテ!留学JAPAN 大学生コース 一次・二次審査突破。留学が決定。
- 5月 5月 専攻科推薦試験に合格。
- 4月 4月 進学を考える。
- 4月 4月 学生会メンバー部長を務める。配属先の研究室の先生と相談し、専攻科から大学院へ行くことを決意。
- 本科5年 8月 友達に誘われ、オーストラリアに 語学研修 1ヶ月ホームステイ。
- 本科3年 12月 学生会執行部に入る。
- 本科4年 4月 進学先を決める。
- 本科1年 8月 友達に誘われ、オーストラリアに 語学研修 1ヶ月ホームステイ。
- 本科2年 8月 友達に誘われ、オーストラリアに 語学研修 1ヶ月ホームステイ。
- 本科1年 8月 友達に誘われ、オーストラリアに 語学研修 1ヶ月ホームステイ。

バヤラー君へ

～3年間の思い出を添えて～

チューター 土木建築工学科
大上 喬之

僕がバヤラー君のチューターになると決まったのは、そろそろ3年生になる頃の春先、陸上合宿の合間でした。上先生からその話を聞かされ、当時英語が苦手だった僕は「これを機に英語を克服するぞ!」と決心し、そして今日まで一度たりともバヤラー君と英語で話していないことを今でもよく覚えています。一方でお互いに自分語りだけはよくしましたね(笑) 自国のこと、勉強のこと、自分が思いついたすごいこと...、バヤラー君の話が幾度となく僕の生に刺激を与えてくれました。僕自身もバヤラー君の好奇心に少しでも刺激を与えていたら光栄に思います。さて、今度はお互い大人になったら、お馬さんに乗りながらお互いの生について語り合おうね(笑)



高専での“一期一会”

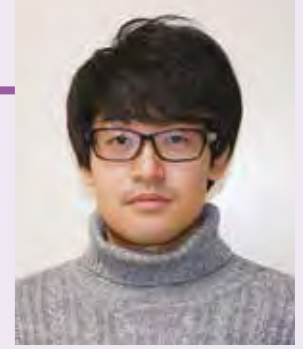


土木建築工学科
エンヘー バヤルバト

私はモンゴルで1年ぐらい日本語を勉強して、2017年に徳山高専に編入しました。最初の2ヶ月は日本語がわからなくて、苦労していたこともあったが、優しく教えてくれる先生方、元気な声で挨拶する学生たち、生活の面でサポートしてくれる職員の方々の優しさで自分を強く持って頑張ってきました。今まで、母国モンゴルに貢献するために土木建築工学を本格的に勉強してきました。勉強以外にも、日本の文化や姿などといったことも修得し、様々な人と付き合い、人間の輪を広げてきました。やはり自分と異なった考え、観点を持っている人々とコミュニティすることや異文化を理解することなどが勉強と同じ価値があると考えています。徳山高専は外人の私にとって日本での一番快適で、安全のSWEET HOMEの存在です。高専での生活は私にとって知識的にはもちろん、精神的にも成長になった貴重な3年間だと思ひます。Thank You Very Much For Everything TOKUYAMA KOSEN!!!



機械制御工学専攻
石田 篤弘



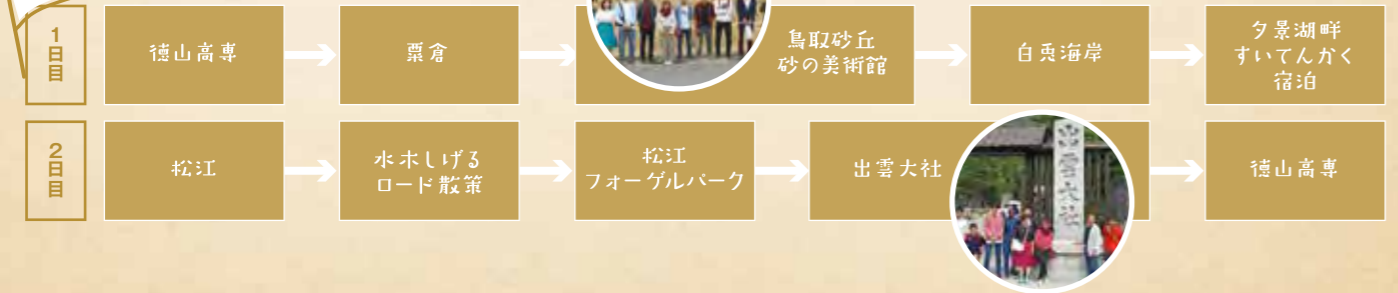
後輩に一言
将来の自分を想像し、後悔しないように時間を使ってください。

就職先
パナソニック株式会社
コネクティッド
ソリューションズ社

就職までの道のりを紹介!
石田さんのリアルSTORY

- 進学先 パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社
- 専攻科1年 11月 2次選考で専攻科に合格する。
- 専攻科2年 4月 第志望の企業に志願書を出すも落ちる。就職試験への甘い考えがあったことを自覚し、自己分析や履歴書の検討などを再度行う。
- 5月 前回の反省から再度自分を高め直しパナソニック株式会社コネクティッドソリューションズ社に志願する。
- 6月 パナソニック株式会社コネクティッドソリューションズ社に就職が決まる。
- 6月 長期インターンシップで製造技術部でソフトウェアや機械設計など幅広い仕事を体験する。実際の開発に携わり、自分の視野の狭さと知識不足を実感する。
- 専攻科1年 11月 2次選考で専攻科に合格する。
- 6月 TOEICのスコアが足りず、専攻科1次選考を断念する。
- 8月 長期インターンシップで製造技術部でソフトウェアや機械設計など幅広い仕事を体験する。実際の開発に携わり、自分の視野の狭さと知識不足を実感する。
- 専攻科1年 11月 2次選考で専攻科に合格する。
- 6月 TOEICのスコアが足りず、専攻科1次選考を断念する。
- 8月 インターンシップ先を決めきれず、インターンシップを断念する。自身のスキルアップとより広い視野が必要と考え、専攻科進学を検討し始める。
- 1月 機械設計技術者検定3級を取得する。
- 本科5年 6月 TOEICのスコアが足りず、専攻科1次選考を断念する。
- 11月 2次選考で専攻科に合格する。
- 6月 TOEICのスコアが足りず、専攻科1次選考を断念する。
- 8月 インターンシップ先を決めきれず、インターンシップを断念する。自身のスキルアップとより広い視野が必要と考え、専攻科進学を検討し始める。
- 1月 機械設計技術者検定3級を取得する。
- 本科5年 6月 TOEICのスコアが足りず、専攻科1次選考を断念する。
- 11月 2次選考で専攻科に合格する。
- 6月 TOEICのスコアが足りず、専攻科1次選考を断念する。
- 8月 ソフトウェアの会社に通関インターンシップに行く。ロボット製作などを行うには機械の知識だけでなく情報などの幅広い知識が必要であると気が付く。
- 本科3年 10月 NHK高専ロボコン地区大会で敗退し、自分の実力の無さに挫折する。
- 本科4年 4月 高専ロボコンに参加するためにメカトロシステム部に入部する。
- 11月 全国大会で先輩が優勝するのを見て、ロボコンにさらに惹かれる。
- 本科2年 8月 ソフトウェアの会社に通関インターンシップに行く。ロボット製作などを行うには機械の知識だけでなく情報などの幅広い知識が必要であると気が付く。
- 本科1年 4月 高専ロボコンに参加するためにメカトロシステム部に入部する。
- 11月 全国大会で先輩が優勝するのを見て、ロボコンにさらに惹かれる。

留学生研修旅行





新入寮生歓迎マツキ



昼食



競技中

寮生マツキ



じゃんけん列車

避難訓練



七夕会



短冊飾り



浴衣姿で一枚

予餞会



歓談中



卒寮生と一緒に

卒寮式



卒寮生答辞



記念品授与

入寮式



新入寮生挨拶

一年で一番大きなイベントが卒寮生を送る予餞会です。寮長として今年はビンゴと抽選会の二つを主に催しました。景品は電化製品や日用品から、寮生には需要の低い物まで幅広く用意しました。卒寮生の皆さんと夕飯やお菓子を食べながら楽しめる会になりました。

土木建築工学科 4年 原田 知弥

ぼくが副寮長として寮を支えてきた中で一番の思い出は週番交代です。週番は寮内の放送等を担当する1・2年生の役割です。その交代が毎週木曜日にあり寮生会役員から新旧週番への指導があります。ぼくは寮生会で唯一の3年生で最初は緊張しましたが、だんだん楽しくなりました。来年度から寮長なので寮を楽しみたいです。

土木建築工学科 3年 山下 航星

美化部長を担当しました。イベントや行事だけでなく、日頃の寮生活においても欠かせないのは掃除や片付けです。寮生全員が協力してくれたおかげで、今年はとても素早くきれいにすることができました。ありがとうございました。

情報電子工学科 4年 原田 優

指導寮生長として寮の勉強会を担当しました。テストの3週間前から1週間前までの金曜を除く平日に寮食堂で勉強会を行いました。1年生から5年生まで多くの学生が参加し、集中して勉強できる良い会となりました。

機械電気工学科 4年 中村 快

今年度は寮が改修する関係で半期のみとなったので、寮のイベントの方に力を入れました。自分が体育部長として担当した寮生マッチでは、スポーツで競うことよりも交流という点を重視し、じゃんけん列車などをして他学年との交流をはかりました。

土木建築工学科 4年 松原 快



高城寮のイベント



新入寮生集合写真



野球応援

毎年、硬式野球部を応援するため応援団を結成しています。声を枯らしながら一致団結し、ONE TEAMで相手に挑みます!



1年生合宿研修

入学間もない時期ではありませんでしたが、活動を通して互いにコミュニケーションがとれるようになりました。いい思い出になっています!



春・秋クラスマッチ

今年のクラスマッチは前期、後期とも晴天に恵まれ、例年以上に盛り上がりました。運営としては学生会の協力のもと、無事終わることができたので良かったです。



中国地区・全国高専体育大会

それぞれの学生が日頃の練習の成果を発揮して頑張りました。今年は去年よりも全国高専大会で、優秀な成績を残した部活が多かったです。



メダル栄光

令和元年度前期メダル栄光賞授与式に出席しました。村岡知事からメダルとお祝いの言葉を頂きました。来年も各大会で優勝できるよう日々の練習を頑張っていきます。



執行長会議

徳山高専の執行部主催のもと、中国地方の高専の執行部と学生生活をより良いものにするため、意見を出し合いました。中国地区の団結力が猛烈に高まりました。



クラブリーダー研修会

毎年異なるテーマで実施している研修会、今年はAED講習でした。日常生活の場面を想定し、皆技術の習得に励みました。



周南ロボコン

今年の周南ロボコンも無事終えることができました。製作教室や周南ロボコン当日の準備等を手伝って頂いた高専祭関係者の皆様、そして先生方ありがとうございました。



高専祭



学生会活動の振り返り

今年は学生会活動として、地域の清掃活動やイベントの手伝い、中国地区高専執行長会議・全国交流会や学校行事の企画・運営を行いました。特に高専祭に関しては、校舎の工事の影響で思うようにいかないことが多々ありましたが、学生が一丸となり乗り越えることができました。また、全国の高専執行部による交流会にも参加し、学生会としては例年通りではなく、チャレンジの一年だったと思います。来年度も学生会がたくさん活躍することを願っています。



学生会長
角田 竜一

高専祭の振り返り

今年開催された第45回高専祭では、テーマ「Be Ambitious」ということで、学生一人一人が大きな目標を持って高専祭に参加することができたと思います。高専の技術を用いたメイン企画は年々クオリティが高くなっており、今年のVRゲームとスタンプラリーは大人気でした。他にも、本格的な演出機材を使っのファッションショーや筋肉を競い合うマッスルグランプリなどのステージ企画によって、二日間ともに大盛況となりました。



実行委員長
大田 竜斗

退職教職員から

エンジニアから 教員生活へ

情報電子工学科/教授

山田健仁



バブル経済が弾け、阪神・淡路大震災や地下鉄サリン事件で世間に不安感が増していた平成7年に徳山高専に着任しました。大学院を修了して14年間は企業のエンジニアでしたが、諸事情により教員の道歩むことになった次第です。コミュニケーションが苦手で、人付き合いが下手なことを理由にエンジニアの道に進んだ自分が、教員になるとは学生時代には考えられないことでした。社会人になりそれ相応に自分の殻を破ってきてはいたのですが、人前で話すのに大きなストレスを感じ、当初の講義では上手く話せない状態で、学生に迷惑をかけたように思います。今でも学生や人前で話すのは苦手ですが、この緊張感

は失わない方が良くも思っています。社会人になつたばかりの頃、社員寮に同期入社の高専出身の方がいました。私より4歳若い彼は非常に優秀で仕事の出来る人でした。そのため徳山高専に

着任しても学生が優秀な事に驚くことはなかったのですが、過剰に期待して今では考えられないような難しい講義をし、課題を課していたことが懐かしく思い出されます。研究室の学生にも優秀な学生に恵まれ、指導に困難を感じたことはありませんでした。光陰矢の如しで、そんな中でもう定年退職の年齢になつてしまいました。

さて、これまでの経験からエンジニアにとつて最も大切なことは、人間、機械などあらゆる事物に誠実に向き合う事だと考えています。そこから色々と聴こえてきます。学生の皆さんは、これからのエンジニア生活を是非楽しんでください。最後になりますが、今日まで、学生、教職員の皆様に使われ大過なく教員生活を送ることができたことを感謝いたします。ありがとうございます。徳山高専の益々の発展を祈念しております。

めざせ生涯現役！

学生課/学生課長

貞野修一郎



私は昭和53年(1978年)に土木建築工学科の技術職員として採用されました。徳山高専の採用決定がもう1日遅かったら、内定していた警視庁で勤務する予定だったので、その当時、両親が安堵していたことを今、思い出しています。その後、大先輩から「事務に来ないか?」と声を掛けていただき、行政職試験を受験して今日に至りました。徳山高専で35年間、山口大学に3年間、呉高専では4年間(単身赴任)お世話になり、その間、仕事や趣味のスポーツ関係などで出会えた方々と公私に渡り人的ネットワークを築けたことは大きな財産となっています。

振り返れば仕事で失敗したことの方が多かったように思いますが、これまでご指導いただいた数多くの教職員の皆様と元気を与えてくれた学生の皆さんに、この場をお借りして深く厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。学生の皆さんが部活動やコンテスト等で懸命に頑張る姿に勇氣と元気をいただける職場に就職できたこと、最後

に皆さんをサポートする学生課で定年を迎えられる私は幸せ者であり、感謝の言葉しかありません。

私事ですが、高専採用後に始めた野球とソフトボールは、氣力、体力の続く限り生涯現役選手として練習&試合&飲み会を楽しみながら、4月から再スタートしたいと思っています。最後に、徳山高専を飛び立つ学生の皆さん、生涯現役で楽しめる“何か”を見つけ、新しいステージでご活躍されることを祈念いたします。

退職を迎えて今、 学生諸君へ伝えたいこと

一般科目/教授

長戸喜隆



徳山高専に勤めて丁度三十年、前任校を入れると三十九年の教員生活にこの三月末で幕を下ろして退職することになりました。徳山高専の三十年で主事補を八年、学生相談室長を四年そして一般科目主任を二年ほか、公務をいろいろ経験しましたが、最も忘れられない思い出になつて居るのはやはり学級担任と卓球部顧問で経験したことと中国地区の英語弁論大会で指導した3人の学生がスピーチ部門で優勝した時のことでした。やはり学生の皆さんとの思い出が何より強く心に残っているようです。自分にとっては一つが替え難い宝物となっています。

去りゆく者から未来ある学生諸君に伝えたいことが点あります。皆さんは、海外に雄飛する、起業して社長になる、特許を取つてその道の第一人者になる、など熱き希望に胸躍らせていると思います。その逆に今は目標を見いだせず不安に思っている人もいます。私の拙い

経験から言わせていただければ、失敗も今の不安も過ぎてみれば、何の問題もなくなりません。人生に失敗はつきものです。同じ失敗をせぬよう次に生かせばいいのです。不安は思慮深さの表れです。プラス思考で行きましょう。

皆さんは、サクラマスという魚を知っていますか。主に北海道でマスの一種をこう呼びます。サケのように海に下り、二年海で過ごして成熟体になつて元の川に帰ります。実はヤマメと同じ魚です。縄張り争いに敗れ古里の川を追われたヤマメは海に降りて2倍、3倍の個体になつて帰ってくるのです。帰ってきたサクラマスは幼なじみのヤマメを氣にとめることもなく、さも誇らしげにヤマメの側を悠然と泳ぐのです。皆さんには一度や二度の失敗や挫折に挫けることなくサクラマスのように真の勇者となつていただきたいと思えます。皆さん一人一人がサクラマスになれる可能性を持っています。

光陰矢の如し

総務課/総務課長

小田清治



ずいぶん先の事だと思っていた定年退職ですが、ついにその日を迎えることとなりました。

昭和54年4月、徳山高専の事務職員として採用となり、以来41年間教育関係職員として勤務させていただきました。

最初の7年間は、創立間もない徳山高専の会計課用度係、学生課学生係にて勉強させていただきました。若手職員が多

い活気のある職場でした。そして山口大学へ転勤。学生部、総務部、人文学部、経済学部、農学部、学長戦略部、医学部などでお世話になりました。また、この間、3年間の山口徳地青少年自然の家出向で社会教育、家庭教育の大切さを学びました。

最後の2年間は、ご縁があつて古栗の徳山高専でお世話になることとなりました。高城寮や実習棟の改修工事、休日の全館施設の実施、働き方改革に伴う労務管理、機関別認証評価受審、ISATE2019国際学会の開催などなど、中身の濃い充実した時間となりました。

今顧みますと、それぞれの職場で数々の出来事や色々な人との出会いが、鮮明に蘇ってきます。その中で得た貴重な経験を今後の糧としたい、また、ここまで支えてくれた家族に感謝したいと思います。

徳山高専の教職員の皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございます。



高城会40周年記念懇親会を開催しました

令和元年8月10日(土)、ホテルサンルート徳山にて高城会の設立40周年を記念して懇親会を開催しました。卒業生94名(徳山高専在籍の教職員10名を含む)、元教職員17名、現役の教職員10名、合計121名の皆さまにご参加いただきました。

川村会長の挨拶に続いて勇校長の乾杯のご発声で開宴となり、元校長や元教員の方々からのスピーチを頂きながら楽しく賑やかに会は進みました。途中、余興として「校歌穴うめクイズ」を行いました。ご参加の皆さまにとって難易度は高かったようです。特に、1番から3番までに共通している「徳山高専 健児○○○○われらここに○○○○」の箇所は難問でした。閉会の挨拶で50周年記念懇親会を開催することをお約束し、万歳三唱の後、記念撮影をして解散となりました。

10年後に高城会は50周年を迎えます。それまでに母校徳山高専への支援を充実させていく計画です。今後ともよろしく願いたします。



編集後記

1年を振り返ると、ハンドボール部の全国大会優勝(地元開催)を始めとする、高専体育大会での活躍や、ロボコン、プロコン、デザコン、スピコンを代表とするコンテストでの活躍など、多くの学生の様々な活動がありました。ご支援いただいている皆様への御礼とともに本校の1年間を報

告させていただきます。これからも、本校における活動を、温かく見守り、応援していただければ幸いです。最後に、原稿を執筆いただいた皆様、心よりお礼申し上げます。



本校の「設計情報工学」プログラムは、日本技術者教育認定機構(JABEE)からの認定を受けています。



本校は、平成24年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構の認証評価を受け、認証評価基準を満たしていると認定されました。平成18年度に同機構による認証評価を得ており、引き続き認定されたものです。



大学教育再生加速プログラム

本校の申請が文部科学省の平成28年度大学教育再生加速プログラム(AP) 高大接続改革推進事業「テーマV 卒業時における質保証の取組の強化」に採択されました。

40年ぶりの徳山高専にて思うこと

教育研究支援センター/技術専門職員

松原 達治

平成31年の4月より徳山高専の技術専門職員として採用され、あっという間に8ヶ月が過ぎました。昭和55年に本校を卒業し、40年ぶりの姿を見て、増設された校舎や実習工場の設備には驚きを禁じえません。本校卒業後、産業機械製造業に40年間従事しました。その間、主にマシニングセンタを中心にした生産技術、機械加工等、ものづくりひとすじに取り組んできました。

本校での機械実習においては、1年生がフライス盤、2年生がマシニングセンタを担当させて頂いておりますが、どの学生もとても素直で真面目であるという印象を持っております。今は、自分が経験してきたことをいかに授業に織り込んで解りやすく学生に伝えればよいかを考え、来年に向けて準備をしています。最後になりますが、徳山高専の学生が各方面で技術者として生産活動に貢献されることを祈念いたします。有難うございました。



PICK UP NEWS

後援会からワゴン車寄贈

本校後援会から本校へ、10人乗りワゴン車(トヨタハイエースワゴンングランドキャンピング)が寄贈され、令和元年10月2日に贈呈式が執り行われました。贈呈式では、原田晋太郎後援会会長から勇校長へ目録が贈呈され、勇校長から、学生の課外活動支援等に活用させていただく旨の謝辞がありました。



贈呈式
写真左:原田会長
右:勇校長



徳山高専だより No.73

発 行 総合企画室
所在地 〒745-8585 山口県周南市学園台
T E L (0834)29-6200(代表)
F A X (0834)28-7605(代表)
印 刷 大村印刷株式会社
発行日 2020年(令和2年)3月4日
U R L <http://www.tokuyama.ac.jp/>